

ハンガリー共和国からの彫刻の寄贈について

1 背景

本年は日本・ハンガリー外交関係開設 140 周年・国交回復 50 周年にあたり、2009 年日本・ハンガリー国交回復 50 周年記念事業実行委員会（委員長 河野洋平前衆議院議長・日本ハンガリー友好協会会長）主催により、各種記念事業が実施されている。

この記念事業の一環として、2009 年 7 月 14 日、駐日ハンガリー大使から中野区長あての書簡により、ハンガリー出身で晩年日本に帰化し、栃木県益子町で創作活動にあたった故ワグナー・ナンドール氏の作品『哲学の庭』を中野区に寄贈したい旨の申出があった。

その理由としては、故ワグナー・ナンドール氏の遺志を引き継ぐ夫人が、哲学堂公園の創業者である故井上円了博士の哲学に関する考え方は、故ワグナー・ナンドール氏の持っていた哲学観につながるものであるとして、哲学堂公園への設置を強く要望したことによるものである。

中野区としてはこの申し出を受け、設置を行うものである。

なお、今回寄贈をうける『哲学の庭』の彫刻は、同様のものがハンガリーの首都ブダペストにも 2001 年に設置されている。

2 設置予定場所

中野区立哲学堂公園 梅園内（中野区松が丘 1-34-28）

3 設置面積

約 150 m²（広場スペース含む）

4 彫刻の構成

水盤を囲む 5 体（アブラハム、エクナトン、キリスト、釈迦、老子）、
側面に設置される 3 体（聖フランシス、達磨大師、ガンジー） 計 8 体

5 彫刻の大きさ

1 体あたり 約 50 cm×180 cm 重さ 140 kg～170 kg

- 6 今後の予定
平成 21 年(2009 年) 10 月～11 月末 整地及び設置工事
12 月上旬 完成除幕式典

参考

哲学堂公園 平面図

